

自国民の食料を最優先するのは当然 「食料主権」を保障する貿易ルールを

「国民の食料は、最大限、自分の国の農業でまかなう」のが、世界でありまへの考え方です。たれ流し輸入をくいとめ、国民の食料を安定的

に確保するために、関税や輸入規制などの措置をキチンととります。東アジア各国と協力して、アジア規模での食料不足にたちむかいます。

消費者と農業者が力をあわせて 「食の安全」と地域農業の再生を

中国製ギョーザ事件はじめ、「食の安全」がゆるがされています。食料自給率を抜本的に高めながら、生産現場から消費者まで共同したとりくみをひろげます。

- 輸入食品の検査体制を強化し、原産国表示の徹底をはかる
- 農産物・加工品の監視体制を強化し、製造年月日表示を復活する
- BSE対策の全頭検査を維持する
- 「地産地消」や「食の安全」を重視した地域づくりをすすめる

オリセン

“亡国農政”から
ぬけだして



安全な食料を
日本の大地から

自給率50%台へ一刻も早く

日本共産党 農業再生プラン

“農業はやっかいもの。ワリにあわないなら輸入すればよい”。自民党は長年、こんな考え方で農政をすすめてきました。その結果、国民の食料の6割が外国だのみに、農家はへり、農村はさびれる一方に…。こんな“亡国農政”を大もとからきりかえて、やりがいのある農業へ、「国民のいのちをささえる土台」にふさわしい農業へ——私たちの提案をぜひごらんください。

おおさか市民ネットワーク
藤永 のぶよ

急増する地球人口、加速する温暖化。いま、食の「安全・安心・安定確保」や「農業の自立」は国や政治の緊急課題です。未来を考えてこの政策を広げましょう。

安心して農業をつづけられるよう 価格保障・所得補償を充実する

大規模農家もふくめて、多くの農家が「もうやつていけない」と悲鳴をあげています。コストを確実にカバーする価格保障制度で、安心して作りつづ

けられるようにします。農家の所得を確保して、「やむなく離農」という悲劇を生まないようにします。

お米——「不足払い」制度をつくります

米を1俵(60kg)つくるのに1万6824円。ところが販売価格は、それより2000円も低くおさえられています(06年度)。

8000円を保障します(07年産米)。

お米の値段や流通の安定は、「市場まかせ」ではなく、政府が責任をはたします。年間77万トンにもほる輸入米をきっぱり中止します。

生産費を保障する「不足払い」制度をつくり、農業の多面的役割にたいする所得補償を加えて「1俵⇨1万

8000円」を保障します(07年産米)。

お米の値段や流通の安定は、「市場まかせ」ではなく、政府が責任をはたします。年間77万トンにもほる輸入米をきっぱり中止します。

麦・大豆・畜産・野菜・果樹——手厚い支援で増産をはかります

トウモロコシや大豆などの輸入価格の異常な高騰は、日本の畜産に大打撃をあたえています。「交付金制度」を復活・充実させて、麦・大豆・飼料作

物の国内増産をはかります。畜産物や果物、野菜などの輸入野放しを規制するルールをつくります。

財 源

必要な予算は9000億円。農業予算の柱を、土木対策から価格保障・所得補償にきりかえ、全体の予算もふやせば確保できます

家族経営を柱に、大規模経営も—— 農業をつづけたい人すべてを応援する

規模の大小で農家を選別する「品目横断対策」をやめ、家族経営をささえます。わが国の農業と農村をささえている大規模農家や生産組織を

しっかり応援します。新たに農業をはじめる人に「月15万円を3年間支給」する制度をつくります。

食料と農業の未来をいつしよに考える 「しんぶん赤旗」をぜひお読みください

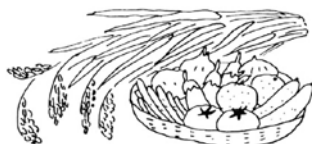
● 日 刊 2900円
● 日 曜 版 800円

お申し込みは、お近くの党事務所または
党員か、日本共産党
中央委員会まで。

自民党農政にはホトホトあきれている。世界の食料需給がひっ迫している今こそ、農政の大転換が必要だ。その点で、今回の「農業再生プラン」は時宜を得ているし、農業農民を元気づけるいいプランだと思う。

秋田県大潟村
・農業

坂本進一郎



農産物の自給率を大幅に高め、食の安心・安全を確保する。国土保全の役をなす山間小規模農業をも大切にする。また家族経営が継続できるようにする「農業再生プラン」に大いに期待します。

元高知県農協
中央会会長

所谷 孝夫